

里山の生活体験教室【西条市】

～地域住民との交流を通して里山の暮らしを知ろう～

◆活動の目的・理念

- 地域の環境を生かした体験活動の充実
- 地域住民との交流
- 地域住民の活力、地域の賑わい創出等地域の活性化

活動場所	大保木公民館		対象学校区名	市内小・中・高校生および新居 浜南高校生		子どもの平均 参加人数	10 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	4 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	5 日	協働活動支援員 のべ人数	11 人	
	日・休業日等	1 日	10 : 00 ~ 12 : 00					
協働活動サポ ーターのべ人数	10 人	PTA会員、愛護班員、民生児童委 員、教員OB		ボランティア のべ人数	57 人	大学生、婦人会員、愛護班員、老 人クラブ、保護者		
参加者募集	各高等学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集		連携・協力 機関・団体	大保木公民館、大保木地区連合自治会、西条自然学校、石鎚ふ れあいの里				

取組の概要

<主な取組内容>体験プログラムの実施

- **かずら細工製作体験**
大保木地域で採取したかずらを使い籠を製作しました。教室実施に当たり公民館活動サークル(かずら細工サークル)会員が指導者となり、各自1作品を作ることができました。
- **「お山のマルシェ」の運営と販売**
地域「石鎚山の駅」店舗および周辺会場にて、「お山のマルシェ」を開催しその運営と販売・接客を体験しました。
- **ふれあい運動会の運営体験**
地域運動会を地域住民といっしょに運営そして競技に参加しました。
- **薪割りとその薪を使った羽釜炊飯、そして山歩き、柿取りを体験**
西条自然学校の指導協力のもと山仕事の講義を受講、そして薪割りを体験、その薪を使い羽釜炊飯にチャレンジしました。山歩き、柿取りも体験しました。
- **七草会**
地域住民から七草について講義を受講し、七草を使った”七草粥”を調理しました。



「お山のマルシェ」活動風景

児童・生徒の感想

- ・ 知識も経験もない事柄が経験でき楽しかった。
- ・ 自分の生活になかったそして今後知ることのなかったであろう、そこに住まわれる方の生活とこの地域の存在を知ることができ視野が広まり大変良かった。
- ・ 手作りの良さを味わえた。
- ・ 慣習や風習の意味が知れ勉強になった。

<特色ある取組>

- **山歩きと柿取り体験**
山歩きにより空き家が廃屋となっている様を知り、そして柿取りの鳥獣被害対策という目的を認識したうえでの実体験をする。同じ市内にあっても、自分の世界とは異なる世界・地域があることを認識すると共に、この地域に居住する人と交流することで人とのかかわりを学び、この地域への興味を呼び起こす。合わせて自身周辺の人との関係性の再考を促す。



県道沿いの柿取り(鳥獣の餌)除去風景

事業を実施して

【成果】

- 住民が講師となることでやりがい芽生え、生活にも張りが生まれました。
- 参加学生が地域の課題を知り、対処作業を一緒に行うことで、地域への継続的な交流を生む切っ掛け作りとなりました。
- 地域住民と他業種者との交流が推進され、今後の事業継続に寄与できたと考えています。

【課題】

- 地域づくり組織との連携。
- 住民がこの事業へ参加する意欲の向上と継続。
- 事業へ参加した学生が今後、継続的に活動できる繋がりを確立する。
- 地域課題を住民及び学生等と、共に解決する作業を実施する際の安全を担保する対策の確立。